

Title	ヴィクトリア朝における二人の女性社会改良家：オクタヴィア・ヒルとフローレンス・ナイチンゲールの関係をめぐって
Author(s)	木村, 美里
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.25No.2, 2016.3 :4-7
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5643
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

ヴィクトリア朝における二人の女性社会改良家 -オクタヴィア・ヒルとフローレンス・ナイチンゲールの関係をめぐって-

木村 美里

はじめに

日本で「オクタヴィア・ヒルを知っていますか?」と聞いて、英国の環境保護団体ナショナル・トラストを知っている人、環境保護活動に携わる人、あるいは学術分野の仕事に就いている人以外、一般的に答えられる人はほとんどいない。しかし「フローレンス・ナイチンゲールを知っていますか?」と聞かれれば、少なくとも前者よりは多くの人がその名を知っていると答えられるだろう。オクタヴィア・ヒル (Octavia Hill, 1838-1912以下ヒルとする) とフローレンス・ナイチンゲール (Florence Nightingale, 1820-1910以下ナイチンゲールとする) は同じ時代に社会を良くしようと活動を行った人物である。ヒルは貧しい人々の住宅改良運動、オープン・スペース運動とトラストの創設者として、ナイチンゲールは看護及び公衆衛生の改革者として知られている。しかしながらナイチンゲールが今日も有名であることとは対照的に、ヒルはいくつかの要因により歴史の中で埋もれてしまった人物である¹⁾。したがってこの二人が知り合いであったことも日本ではほとんど知られていないだろう。ヒルは祖父や母親、ジョン・ラスキン (John Ruskin, 1819-1900) やF.D.モリス (John Frederick Denison Maurice, 1805-1872) などから思想的影響を受けて自らの思想を形成した。また彼女は交友関係が広がったことでも知られている。ナイチンゲールとの関係もそのひとつである。

これまで筆者はヒルに思想的影響を与えた先述の人物たちを挙げ、彼女との関係を考察してきた²⁾。本稿では広範囲であったとされるヒルの人間関係へ更なる光をあてて、当時の人々のつながりを考察したい。今回はその基礎研究としてナイチンゲールの人物像と行った活動及び彼女への評価について言及し、当時の資料や先行研究を通してヒルとの関係を論じる。

1. フローレンス・ナイチンゲールについて

ヒルについての基本的な事柄は既に拙論で述べているため³⁾、本稿は簡潔であるが、ナイチンゲールの人物像と行った活動及び彼女への評価を論じることに限定する。

ナイチンゲールは上流階級の家庭に生まれ、学問的な学びが男性のものとしていた当時には珍しいことであったが、父親から古典、数学、天文学などの教育を受けた⁴⁾。この結果ヴィクトリア朝の一般的な上流階級の女性が歩む社交界から結婚という道を彼女は進まない。17歳で「神の啓示⁵⁾」を受けたナイチンゲールは貧困や病気で苦しむ人々の劣悪な看護環境の実態を目の当たりにし、神の愛を実践する者としてこの是正に尽力した。看護師になることを決めた彼女は家族からの猛反対にあいながらも、決してあきらめず自らが信じる自立への道を進む⁶⁾。彼女はクリミアの戦地で裏切りや対立などの想像を絶する経験にあいながらも2年間活動した。その活動が認められ彼女の帰国の際には国内が賞賛で沸き立っていたが、彼女自身は隠れて静かに帰国した。帰国後は多くの兵士を犠牲にした失意と体調を崩したことにより、約50年間は主に寝室で過ごし、執筆活動などを通して社会に貢献した。その活動は多岐にわたり、政策への提言や看護学校創設も挙げられる。彼女は現実世界での経験を重んじていたが、信仰が深く、神の愛を基盤とする理想主義的考えももっていた。統計、政治、芸術などへの関心も強かった⁷⁾。したがってナイチンゲールは多方面への知識を持ち、行動力のある人物であった⁸⁾。また彼女は資料収集・分析を重要視し、その結果に基づき人間の尊厳を考慮した態度をもって人間教育の必要性を説いた。さらに看護という分野を通して女性の「自立」とそのために学問を身につける必要があると考えた。ナイチンゲールは公衆衛生への関心か

ら、環境問題にも精通していた。彼女は当時では先駆的とされた酸性雨への問題に関する論文を高く評価している⁹⁾。

次にナイチンゲールの評価について、日本では子供のころに世界の伝記など、本を通してナイチンゲールと出会うことが多い。「クリミアの天使」あるいは「ランプの貴婦人」として描かれたナイチンゲールはクリミア戦争で兵士たちを助け、その後看護学校を設立した勇敢で優しい女性として描かれ、子どもたちへ夢を与えている。しかしながら、伝記の中には子供たちのために描かれるナイチンゲール像とは全く異なる視点で書かれたものがある。ナイチンゲールの伝記ないし研究は彼女の膨大な一次・二次資料を背景に部分的な考察によるものが多数執筆された¹⁰⁾。それらの伝記は彼女の全体像を把握しているとは言い難いと今日指摘されている¹¹⁾。その理由はこれらの伝記が彼女の負の部分のみを誇張し、まるで「悪魔」のような人物であるかのように記述しているためである。ナイチンゲールは女性差別の風潮と関連して批判の対象にもなった。しかしながら近年の研究ではナイチンゲールの資料収集と整理が進められ、正確なナイチンゲール像を捉える考察が行われている。

2. ヒルとの関係

本稿の研究にあたり、両者の一次資料及び先行研究から二人の関係を示す資料の収集を行った¹²⁾。

ナイチンゲールがヒルを知ったきっかけとして、彼女のいとこバーバラ・ボディション (Barbara Leigh Smith (Bodichon), 1827-1891) の存在が挙げられる。ボディションはヒルの友人であり、ボディションの始めた学校でヒルはフランス語と絵画を教えた¹³⁾。さらにヴィクトリア女王の在位50周年祝賀祭に招待された3名の女性のうち2名がヒルとナイチンゲールであり、この際に二人は直接会ったと推察される¹⁴⁾。

ヒルの書簡集にはナイチンゲールに関する手紙

が残されている。1858年(ヒル20歳)の姉ミランダ (Miranda Hill, 1836-1910) へ宛てた手紙の中にナイチンゲールについての記述がある¹⁵⁾。それゆえにこの時点ではすでにヒルがナイチンゲールの存在を認識していたことになる。1888年のミランダからエレン・チェイス (Ellen Chase, 1863-1949) に宛てた手紙では、ナイチンゲールの美しい手紙が会議で読まれたとの記述がある。この手紙の中でヒルがナイチンゲールはオープン・スペースの問題について深く理解していると述べたことが記されている¹⁶⁾。換言するならば、ナイチンゲールは、ヒルのオープン・スペース運動にも理解と支援があったこととなる。このことはヒルの伝記においても引用されている¹⁷⁾。

ヒル自身がナイチンゲールへ宛てた手紙も現存する¹⁸⁾。この手紙は孤児たちの基金へナイチンゲールが行った寄付に対する礼状である。すでに会計担当者から領収書が送られているが、ヒル自身が個人的に感謝の気持ちをナイチンゲールへ伝えている。

ヒルは1872年～1911年の間、毎年『ワーカー仲間への手紙』という小冊子を発行し、関係者へ配布していた。この小冊子はその年の活動をまとめたもので、収支報告も行われている。1886年に刊行された『ワーカー仲間への手紙』では、寄付者の欄にナイチンゲールの名前が記載されている¹⁹⁾。

ナイチンゲールの書簡にもヒルに関する記述がある。1888年の彼女の弟子であるアンジェリーク・プリングル (Angélique Pringle, 1842-1921) に宛てた手紙に「ロンドンのとても悲惨な状態のコートでは、25もの世帯が生活しています。なぜ人々はこのことを改善しようと真剣に思わないのでしょうか。ミス・ヒルはその改善を行いました。²⁰⁾」と書かれている。したがってナイチンゲールはヒルの住宅改良の活動を認識し、またその活動を評価していたことになる。彼女の“Notes of Interrogation”の中で、ヒルは「理想を実現させた人物」としてヒルの活動とともに綴られている²¹⁾。

先行研究でもナイチンゲールへのヒルの評価は高かったと指摘されている²²⁾。

おわりに

本稿ではヒルとナイチンゲールの関係に着目した考察を行った。ヒルとナイチンゲールは手紙のやり取りを行った仲であるが、現時点では友人というよりも互いを尊敬し、互いの活動を理解し合う仲間のような関係であったと考えられる。ナイチンゲールが住環境及びオープン・スペース運動への理解と関心をもっていたことは興味深いと同時に、彼女の行った活動を考えると、当然のことともいえる。「信仰」、「弱者の救済」、「自立」、「理想の実践」などのキーワードから二人の考え方の中に共通点を見出せる。また後世の人々のために活動したという点においても共通している。今後の研究はそのような共通点と両者の相違点における詳細な分析を目指したい。ヒルと比較することによって、ナイチンゲールという人物を異なる視点から捉えることへのきっかけにもなるだろう。歴史的人物であることは偉大なる功績への賞賛とともに批判も向けられる。ヒルも住宅改良運動や晩年の社会運動への姿勢から厳しい批判を受けた²³⁾。しかしそのような負の側面が存在しても、彼女たちの思想と実践を深く探究すれば、この二人が偉大である事実が変わりはないことがわかる。

本研究の資料収集の結果、ナイチンゲールのエドウィン・チャドウィック (Sir Edwin Chadwick, 1800-1890) との関係と公衆衛生改善へのかかわりについても知る事ができた。ヒルの祖父サウスウッド・スミス博士 (Dr. Thomas Southwood Smith, 1788-1861) はチャドウィックの1842年の公衆衛生に関する報告書に貢献した人物であることから、この関連性を考察することも実に興味深いといえる²⁴⁾。ただし本研究はまだ途中の段階にあるため、この主題は別の機会とする。

今日、ヒルの研究と同様にナイチンゲールの研究も先行研究が見直され、あらためて彼女の功績

が注目されている。この背景としてヒルとナイチンゲールの思想は現代に役立つことが多く、現代の人々に未来への指針を提示してくれることが挙げられる。今後もヒルとナイチンゲールに関する新しい資料や事実が明らかになる可能性は高い。しかしたとえ新しい資料が発見され、それが賛否の分かれる事実であったとしても、ヒルやナイチンゲールが真に大切かつ伝えたいと願ったことは、永遠に変わらないものといえるだろう。

(きむら・みさと 聖学院大学基礎総合教育部特任助手)

注

- 1) 近年、ヒル研究においてリバイバル的な傾向がみられる。中島明子「オクタヴィア・ヒル・リバイバル」『世界の都市社会計画－グローバル時代の都市社会計画』(東信堂、2008年) 48-51頁。ナイチンゲールの研究についても膨大な資料を整理し、より事実に基づいた伝記が執筆されている。日本においては2015年4月にその邦訳が出版されている。マクドナルド・リン『実像のナイチンゲール』監訳 金井一薫 訳 島田将夫、小南吉彦 (現代社、2015年)。この他、ナイチンゲールの今日的意義を問う研究論文がある。喜多悦子「ナイチンゲールの今日的意義 開発理念の観点からナイチンゲールを読む」『日本赤十字九州国際看護大学紀要』10、(日本赤十字九州国際看護大学、2011年) 3-34頁。
- 2) 『聖学院大学総合研究所Newsletter』Vol.19 No.1、No.2、Vol.21 No.5、Vol.24 No.1の拙論を参照。
- 3) 『聖学院大学総合研究所紀要』No.44 (聖学院大学総合研究所、2008年)の拙論を参照。
- 4) 喜多、前掲書、7頁。
- 5) 喜多、前掲書、11頁。
- 6) 当時の看護師は酒に溺れ、売春を行うような粗野で品のない下層階級の女性が就く職業とされていた。当然看護師たちは教育を受けていないため、患者を癒すのではなく、むしろ苦痛を与えるような看護方法が日常茶飯事で行われた。当時の看護の現実については佐々木秀美「ナイチンゲール－女性の専門職を創設する：19世紀は女性の世紀」『看護学総合研究』13巻、2号 (広島文化学園大

- 学看護学部、2015年)、23-24頁を参照。
- 7) 統計学ではケトリーの統計学に精通していた。また彼女は王立統計学会の女性会員及びアメリカ統計協会の名誉会員となった。マクドナルド、前掲書85頁。喜多、前掲書、24頁。
 - 8) 佐々木秀美「ナイチンゲールの組織管理論-他者をコントロールするにはまず、己をコントロールせよ-」『看護学総合研究』16巻、2号（広島文化学園大学看護学部、2015年）、6頁。
 - 9) マクドナルド、前掲書、89頁。
 - 10) ナチンゲールの著書は約150点、手紙などの手書きの文献は1万2000点余りあるといわれている。スモール、ヒュー『ナイチンゲール 神話と真実』田中京子 訳（みすず書房、2003年）vi頁。
 - 11) マクドナルド、前掲書、16-17頁。
 - 12) 現時点での両者の関係を示す資料はきわめて少ない。
 - 13) Darleyはこの関係を通してナイチンゲールはヒルを知ったのではないかと推察している。またナイチンゲールの研修生たちが彼女の義兄（Sir Harry Verney）を訪ねた際、ヒルの管理する住宅のひとつに連れて行かれた事実がある。Darley, Gillian (1990) *Octavia Hill*, London: Constable, pp. 58, 68, 137.
 - 14) 残り1名はジョセフィン・バトラー（Josephine Butler, 1828-1906）である。彼女は貧困者や病気の売春婦の救済活動を行った。在位50周年祝賀祭の記述はヒルの先行研究においても指摘されている。Darley (1990) *op. cit.*, pp. 255-256.
 - 15) “A letter to Miranda Hill, December 19, 1858” in Maurice, Edmund, C., ed. (1913) *Life of Octavia Hill as told in her letters* London: Macmillan and Co.
 - 16) “A letter to Miranda Hill, December 16, 1888” in Maurice ed. (1913) *op. cit.*, p. 484. Darley (1990) *op. cit.*, p. 213.
 - 17) Bell, Moberly, E. (1942) *Octavia Hill A Biography*, reprinted ver., London: Constable & Co., p. 156. ベル・E.モバリー『英国住宅物語-ナショナルトラストの創始者オクタヴィア・ヒル伝』（日本経済評論社、2001年）、264頁。
 - 18) [Letter, Octavia Hill to Florence Nightingale, November 29, 1877] , The University of British Columbia Library, Open Collections, URL: <https://open.library.ubc.ca/collections/florence> 英国ではアパートまたはマンションのことを「フラット (flat)」あるいは「コート (court)」という。
 - 19) ナイチンゲールは現金や小切手などの寄付を手紙に添えて送付していた。マクドナルド、前掲書、57頁。
 - 20) “Letter to Angélique Pringle, March 1, 1888” in Vicinus, Martha & Nergaard, Bea ed. (1989) *Ever Yours, Florence Nightingale Selected Letters*, Massachusetts: Harvard University Press, p. 405.
 - 21) Nightingale, Florence “Notes of Interrogation” in McDonald, Lynn ed., (2002) *Florence Nightingale’s Theology Essays, Letters and Journal Notes*, Canada: Wilfrid Laurier University Press, p. 13.
 - 22) マクドナルド、前掲書、124-125頁。
 - 23) 批判された主な理由は、少年軍事教練隊の結成と女性参政権への反対である。前者は戦争を増長する危険性と若者の命の犠牲、後者は保守主義的な考えから批判の対象となった。Bell (1942) *op. cit.*, pp. 187-189. ベル (2001) 317-320頁。
 - 24) Boyd, Nancy (1982) *Three Victorian Women Who Changed Their World: Josephine Butler, Octavia Hill, Florence Nightingale*, Oxford: Oxford University Press, p. 96. Lewes C., L. (2011) *Dr Southwood Smith*, digitally printed ver. Cambridge: Cambridge University Press, p. 53. 実際にナイチンゲールはサウスウッド・スミス博士のデータを分析している事実がある。Willis, Martin (2011) *Vision, Science and Literature, 1870-1920: Ocular Horizons*, London: Rickerling & Chatto Ltd., p.15.